

「VISIT HANSHIN」英語版ウェブサイト構築業務企画提案コンペ 質問回答(最終)

R8.6.4時点(最終)

兵庫県阪神北地域ツーリズム振興協議会

No	資料	ページ数	質問	回答
1	募集要項	1	募集要項「1.趣旨」に「インバウンド(外国人旅行者)」とありますが、特に重視している国・地域や、想定している具体的なペルソナ(例:欧米の富裕層、アジアの若年層など)はありますか？	協議会のインバウンド施策全体としては、近畿圏で宿泊客数の多い、台湾、アメリカ、オーストラリア、香港、イギリス、フランス等からの個人旅行者をメインターゲットとしています。 【参考】関西の観光統計について～2026年2月分～(近畿運輸局) https://www.tb.mlit.go.jp/kinki/content/000374811.pdf 彼らの多くが旅行先として選定する、大阪・京都のプラスワンとして、都会の喧騒を離れた豊かな里山や文化に親しみたいと考える層への訴求を重視します。
2		3	企画提案書【様式3】について、指定様式がございますが、プラスで別途提案書を提出しても問題ございませんでしょうか。可能な場合、指定ページ数・指定様式等の規定等ございましたらご教示いただきたいです。	【様式3】に記載のとおり、本様式は例示であるため、追加の提案書の提出は問題ございません。A4版であれば、縦・横、カラー・白黒印刷は問いません。
3		3	【様式1】の添付書類に「県税(県内に事業所を有する事業者に限る。)、消費税及び地方消費税を滞納していないことを証明する書類」とございます。弊社は兵庫県内に事業所を有していないため、兵庫県税については【様式7】(誓約書)を提出する予定です。その場合、消費税および地方消費税の納税証明書についても提出は不要となりますでしょうか。それとも、兵庫県外の事業者であっても別途提出が必要でしょうか。	消費税および地方消費税の納税証明書について、兵庫県の入札参加資格を有していない場合は、管轄の税務署にて取得のうえ、提出してください。(募集要項3ページ参照)
4	仕様書	1	令和8年10月1日までの暫定公開において、最低限掲載すべき情報(ロゴ、概要、お問い合わせ先など)の定義はありますか？	仕様書に記載のとおり、外観を整えていること、ドメイン取得ならびにランディングは必須要件としております。したがって、掲載情報の明確な定義はありませんが、暫定公開下においても外部からアクセスを想定しているため、ご指摘のロゴ、概要、お問い合わせ先や連絡先などは掲載すべきと考えられます。
5		2	受託決定後、サイト制作の際に元テキストデータを提供いただく想定をしておりますが、サイト制作前に提供いただくテキストは英語でしょうか。サイト制作時の弊社での翻訳が想定される範囲もご教示いただきたいです。	協議会からの元テキストデータの提供については、原則として日本語によります。受託者における翻訳が想定される範囲は下記のとおりです。 ・トップページ全体 ・ひょうご北摂について(About HANSHIN) ・テーマコンテンツページ(提案内容に合わせて、元テキストデータは協議会から提供する) ・アクセス情報 ・その他、各ページにおける説明書きなどについても、協議会の要請に応じて翻訳を求める場合があります。

6		2	仕様書「5.業務内容 (1) ウェブサイトの構築・設計・デザイン業務」に「AI対応を重視した」とありますが、特定のキーワードでAIの回答に引用されることを目指すといった、具体的なKPIはありますか？	ここでいうAI対応とは、旅行ルートの選定に生成AIサービスを用いる消費行動の拡大への対策を意味します。 したがって、「大阪・京都から近くの旅行先」「自然」「SDGs」など当地域を象徴するキーワードでの引用を目指します。 KPIとして、具体的な引用件数が判明すれば一番良いですが、難しい場合は構造化データの配置やインフラ設計を最適化することなど、AI対応に向けた取組みを提案いただくようお願いいたします。
7			仕様書「5.業務内容 (1) ウェブサイトの構築・設計・デザイン業務 ア トップページの制作 (項目: ひょうご北摂について)」に、「ひょうご北摂の概要を海外の旅行者の文化背景も考慮し、ストーリー性をもたせて伝えること」とありますが、この「文化背景の考慮」において、ネイティブスピーカーによる校閲やライティングは必須要件となりますでしょうか。あるいは、選考における加点要素という位置づけでしょうか。	ネイティブスピーカーによる校閲やライティングは必須要件ではなく、選考における加点要素となります。海外の旅行者の文化背景を考慮した記述は、本項目の構成において重要要素であるため、上記を含めてご提案いただくよう、お願いいたします。
8	仕様書	3	他既存言語の中文・韓国語、また弊社(受託決定後)にて新規で作成するページ(コンテンツ等)は、自動翻訳でも問題ないでしょうか。ユーザー辞典登録も可能ですので、固有名詞などは変更が可能な自動翻訳を提案させていただきたいです。	翻訳については、自動翻訳によることも可能とします。ただし、固有名詞に限らず不自然な表現がないかのチェックは、受託者の責任で必ず実施してください。
9			仕様書「5 業務内容 (1) ウェブサイトの構築・設計・デザイン業務 ア トップページの制作 アクセス情報」において、既存サイトのアクセスページ(https://visithanshin.jp/en/access/)で使用されている画像やテキスト等の素材は流用可能でしょうか？要件に沿って1から新規制作を予定されていますでしょうか？	既存サイトで使用している素材は全て流用可能です。新規制作するか流用するかはご提案いただくよう、お願いいたします。
10			仕様書「5 業務内容 (1) ウェブサイトの構築・設計・デザイン業務 イ CMSの導入」に「必要なデータを入力することにより、簡易にサイトの一部を更新できるシステムを導入すること」とありますが、職員による更新はどの程度を想定していますか？(文字や画像の修正・変更程度か、新規ページのレイアウト構築までか)	現行のサイトでは、CMSを通じたイベント情報の更新やお知らせ情報の更新のみを職員が対応しています。 これ以外の更新も可能ですが、職員はウェブに関する知識を持たないこと及び更新マニュアルの作成が必要となることには留意してください。また、「ク その他 (2)次年度以降の運用保守」との兼ね合いを含め、委託事業者と協議会がどの範囲の業務を担うのかを明確にするようにしてください。
11			仕様書「5 業務内容 (1) ウェブサイトの構築・設計・デザイン業務 エ 個別ページの制作 ③ 旅行記事紹介(Travel Report)」に8件の既存レポートの掲載が指定されていますが、現行サイト(https://visithanshin.jp/en/)に含まれるこれら以外の既存記事や固定ページ等(例: https://visithanshin.jp/especialty/3193/)については、新サイトへの移行対象外という認識でよろしいでしょうか。もし移行が必要な場合、記事の総数や上限があればご教示ください。	8件の既存レポートの掲載は、「旅行記事紹介(Travel Report)」のページ作成における最低要件です。それ以外の既存記事や特産品等の個別ページの移行は、自由提案の範疇ですので、当地域のインバウンド誘客の推進に資する内容をご提案いただけますと幸いです。
12			サーバープラン検討のため、現在のアクセス数を教えていただけますでしょうか。 また、応募図書について、会社名や弊社が特定できる情報の黒塗り(マスキング)の対応は必要ない認識で問題ございませんでしょうか。	現行サイトの4言語(日本語を含む)合わせた年間ページビュー数は、約13万です。 しかし、英語サイト個別のページビュー数は把握できていないのが現状です。推計値にはなりますが、年間1万程度と認識しております。 なお、応募図書はコンペ審査事務においてのみ使用するため、黒塗り対応は不要です。
13	仕様書「5 業務内容 (1) ウェブサイトの構築・設計・デザイン業務 キ サーバーの設置について」に「提案内容が実行可能なスペックのサーバーを設置すること。」と記載がありますが、現行サイトや今後予想されるアクセス数の規模を開示いただくことは可能でしょうか？	現行サイトの4言語(日本語を含む)合わせた年間ページビュー数は、約13万です。 しかし、英語サイト個別のページビュー数は把握できていないのが現状です。推計値にはなりますが、年間1万程度と認識しております。		

14	仕様書		仕様書「5 業務内容 (I) ウ 自動翻訳の導入及びク その他/9 業務実施上の留意点 (5) 個人情報保護」の記載を拝見する限り、フランス語への自動翻訳とアクセス解析を実施することは必須要件であり、GDPRに基づいた対応が必要だと考えられます。クッキー同意管理やプライバシーポリシーの整備、およびそれに伴う技術的対応は本業務の範囲に含まれますでしょうか。	自動翻訳やアクセス解析の実施に伴い、当然発生する技術的対応についても本業務の範囲に含まれます。
15		6	GA4 (計測・データ) について 本サイトにおいて、自動翻訳や生成AI対応、ルート紹介などのユーザー行動を効果的に分析するため、GA4を用いたイベント計測を想定しています。 具体的には、サイト内の外部動画リンクや、ルート紹介ページの各スポットの閲覧状況 (クリック率など) を把握できるよう、初期構築段階で可能な限り詳細なイベント設計を実装する予定ですが、レポートの閲覧環境としてLooker Studio等を用いたダッシュボード構築の必要性や、協議会様が特に重視される計測項目について、現時点でのご意向を伺えますでしょうか。	外部動画リンクやルート紹介ページにおけるスポット別の閲覧・クリック状況など、ユーザー行動を詳細に把握するためのイベント計測については、当協議会としても大変有効であると認識しております。また、分析結果の活用を促進する観点から、Looker Studio等を用いたダッシュボードの構築についても積極的にご提案いただきたいと思います。 特に当協議会では、今後、体験コンテンツの充実を図る中で、民間OTA (オンライン旅行会社) 等へのリンク掲載を検討しております。そのため、掲載している動画やルートコンテンツが、実際にOTAへの遷移につながっているかといった一連の導線について、可能な限り正確に計測・把握することを重視しております。一例として、下記の計測項目を想定しております。 ・外部リンクへの遷移状況 (外部動画リンクへのアクセス、OTA等への遷移導線等) ・ルート紹介ページ内のスポット別閲覧・クリック状況 ・ユーザーの回遊状況および離脱傾向 ・言語別・地域別の行動特性の違い ・自動翻訳の利用状況及び生成AIへの対応状況
16		6	KPI (目標指標) について 「本業務の目的である『インバウンド誘客の促進』に際し、単なるページビュー数やセッション数に留まらず、具体的な成果 (コンバージョン) の定義をどのように設定すべきか検討しております。例えば、観光ルートページから詳細情報への遷移数や、アクセス情報ページの参照数などをKPIの候補として考えておりますが、協議会様として『本サイトを通じた成果』を判断する上で、特に注視したいと考えておられるユーザー行動や指標はございますでしょうか。	KPIの一例として、下記のことを想定しております。 ・ページビュー数、セッション数 ・外部リンクへの遷移数 (外部動画リンクへのアクセス数、OTA遷移数等) ・観光ルートページ内のスポット閲覧数・クリック数 ・コンテンツの閲覧深度 (スクロール率・回遊率) また、ご指摘のとおり、観光ルートページから詳細情報への遷移数や、アクセス情報ページの参照数なども注視したいと考えております。その他、有用と考えられるKPI指標がある場合は積極的に提案してください。
17		6 (その他)	現行サイトのPV数について、ご教示いただけますでしょうか。 主にどの国からのアクセスが多いか、おんかりの範囲でお教えいただけますと幸いです。 訪日外国人観光客の来訪数について、現在どのような方法で計測されているかご教示いただけますでしょうか。	現行サイトの4言語 (日本語を含む) 合わせた年間PV数は、約13万です。 しかし、英語サイト個別のPV数は把握できていないのが現状です。推計値にはなりますが、年間1万程度と認識しております。 アクセスの国別割合は、多い順にアメリカ・中国・インドネシア・韓国です。 訪日外国人観光客の来訪数については、インバウンドの入込数が多い施設等への個別聞き取りにより、参考値として把握しているのが現状です。したがって地域全体の来訪数は計測できておりません。
18	サイトリニューアル後に想定されている目標PV数がございましたら、お教えください。 日本語サイトとドメインを分けている理由や背景について、差し支えない範囲でご教示いただけますでしょうか。 日本語サイトの内容については、必ずしも踏襲しない形でも問題ないか、ご意向をお伺いできますと幸いです。		現状のPV数が推計値のため、現時点では目標は定めておりません。ただ、達成可能なPV数をご提案いただけますと審査の参考にさせていただきます。 現行の日本語サイトと今回新たに作成する英語サイトのドメインを分けるのは、国内向けと海外向けでは発信すべき情報の種類や量が異なるとの考えに立っているためです。 したがって、日本語サイトの内容を踏襲する必要はなく、むしろ、明確に差別化を図り、海外向けに特化したサイト構築を提案いただくようお願いいたします。	

19	様式3	—	<p>【様式3】に関して、企画内容は別紙パワーポイント資料で提出予定なのですが、表紙に【様式3】も添付して提出する際、※ 項目（番号）及び項目名は適切な内容を付与すれば特に問わない。とのことです、何を記入すればいいでしょうか。ご教示くださいませ。</p>	<p>【様式3】について、別途パワーポイント等でご提出の場合は、改めて【様式3】を添付いただく必要はございません。</p>
20	—	—	<p>契約締結後、作業開始予定となりますが、契約締結時期はいつになりますのでしょうか。</p>	<p>6月下旬を予定しております。</p>